

令和6年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	22015	事業名	農業集落排水施設機能強化事業		評価分類	A1		
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等 <input type="checkbox"/> その他()					担当部署		
	施策体系	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上		予算科目	会計	13:下水道事業会計		
		基本施策	03:上下水道の充実			款	資1:資本的支出		
		施策の方向	02:生活排水対策の推進			項	01:建設改良費		
重点プロジェクト		-		目		02:処理場整備費			
事業期間	H 30 年度 ~ R 7 年度	主な根拠法令等	浄化槽法						

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	農業集落排水処理施設の老朽化が進む中、下水道の基本的役割である公衆衛生の確保を持続的に果たすため、計画的に施設の更新を行い、処理施設の機能を適切に確保する必要がある。	農業集落排水処理施設	老朽化した施設・機器等を計画的に更新し、処理機能を回復させるとともに、ライフサイクルコストの縮減や更新費用の平準化を図りながら、施設処理機能の健全化を図る。	機能強化対策事業計画に基づき、老朽化等により処理機能が低下した施設の更新を実施する。

年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
事業計画		○機能強化工事		○機能強化工事 ○維持管理適正化計画策定(第1期)		○機能強化工事 ○維持管理適正化計画策定(第2期)		○機能強化工事 ○機能強化対策事業計画策定(第2期)	
活動実績 (計画通り実施できたか)		老朽化等により機能低下した施設の適切な維持管理を図るため、機能強化対策事業計画に基づき、辺法寺地区処理場、白木地区処理場、上加太処理場において機器の更新工事を実施したが、新型コロナウイルス感染症による工場稼働状況の悪化、及び物流の停滞により、資材の入手に不測の日数を要したことから年度内完成に至らなかった。		老朽化等により機能低下した施設の適切な維持管理を図るため、機能強化対策事業計画に基づき、辺法寺地区処理場、白木地区処理場、上加太処理場において機器の一部の更新工事に務めた。また、維持管理適正化計画(第1期)を策定し、維持管理の効率化・適正化に向けた対策を総合的に検討を行った。		老朽化等により機能低下した施設の適切な維持管理を図るため、機能強化対策事業計画に基づき、辺法寺地区処理場、白木地区処理場、上加太地区処理場において機器の一部の更新工事に務めた。また、維持管理適正化計画(第2期)を策定し、下加太地区、市瀬地区、南部地区において、維持管理の効率化・適正化に向けた検討を行った。			
③ 事業の実施状況 (P・D)	計画額	事業費	42,600千円	14,780千円	55,000千円	62,520千円	54,000千円	76,000千円	60,200千円
		国・県支出金	19,500千円	7,140千円	19,500千円	38,420千円	19,000千円	45,200千円	29,100千円
		地方債	23,100千円	7,200千円	35,500千円	23,100千円	35,000千円	25,800千円	31,100千円
		その他		440千円		1,000千円		5,000千円	
		一般財源		0千円	0千円	0千円		0千円	
決算額	事業費		14,743千円		60,411千円		73,028千円		
	国・県支出金		7,140千円		38,420千円		45,147千円		
	地方債		7,200千円		21,900千円		25,800千円		
	その他		403千円		91千円		2,081千円		
	一般財源		0千円		0千円		0千円		
①期間内計画額(R4-7)		211,800千円		②期間外計画額(R8-)		0千円		①+②総計画額 211,800千円	

(令和6年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	40,000千円
当年度の最終予算額	53,000千円
次年度への繰越額	17,000千円

指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
④ 指標 (C)	機能強化済み整備率	機能強化工事を実施した機器数/期間内の計画対象機器総数	成果	%	計画値	30	47	67	100
					実績値	0	58	91	
					計画値				
					実績値				

判定	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)
⑤ 成果 (C)	A 老朽化等により機能低下した施設の適切な維持管理を図るため、機能強化対策事業計画に基づき、辺法寺地区処理場、白木地区処理場、上加太処理場において機器の更新工事を進め、機能強化済み整備率91%と目標値を達成することができた。
十分な成果を得た	

事業の対象	事業の目的
農業集落排水処理施設	老朽化した施設・機器等を計画的に更新し、処理機能を回復させるとともに、ライフサイクルコストの縮減や更新費用の平準化を図りながら、施設処理機能の健全化を図る。

(再掲)

事業の達成状況等を踏まえた課題事項	
⑥ 課題 (C)	国等からの財政支援が年々減少傾向にあるため、補助金制度等の情報を収集し、財源確保に努める必要がある。また、施設の機能を保全するため、機能強化対策事業計画に基づき事業を推進していくことが必要である。

方向性	
⑦ 事業の展開 (A)	継続(現状維持) 現状どおり事業を継続する
改善・見直し内容	
令和7年度で対応する(した)もの 機能強化対策(第2期)事業計画を策定し、下加太地区、市瀬地区、南部地区において、維持管理の効率化・適正化に向けた検討をする。	令和8年度以降で対応するもの 機能強化対策(第2期)事業計画に基づき事業を推進し、下加太地区、市瀬地区、南部地区において、効率的かつ効果的に事業を推進する。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
⑧ 履歴	成果判定	C	B	A
	事業展開	継続(現状維持)	継続(現状維持)	継続(現状維持)

1次評価者	上下水道部 下水道課 下水道工務GL 谷 徹
最終評価者	上下水道部 下水道課長 宮崎 伸二